

清瀬の自然を守る会

清瀬市内に残る雑木林や水辺環境などの自然を守り、保全するとともに、教育・啓発活動を行っています。

■団体の概要

清瀬の自然を守り保全することを目的に、1976年に結成された市民団体で、現在の会員は約300人です。清瀬松山緑地保全地域の指定²に多大な貢献を果たし、それに続く清瀬中里、および清瀬御殿山緑地保全地域の指定を実現させ、武蔵野の雑木林の保全と維持に努めています。さらに、当会を主体とした「金山調整池ワークショップ」を結成し、柳瀬川、空堀川周辺の水辺環境の保全と維持活動を行っています。これらの活動は清瀬市や東京都などの自治体と協働で行うケースも多く、こうした実績により2000年、清瀬市より「市政30周年記念表彰」を受けています。

■自然環境保全活動

緑地保全地域の指定²への運動のほか、「清瀬せせらぎ公園」「清瀬下宿ビオトープ公園」の企画立案に参画しています。また、緑地保全地域を始めとする雑木林では、落ち葉掃き、下草刈りなどの適切な管理作業を行っています。最近では、東京都の立ち上げた東京グリーンシップ・アクションにも協力し、企業の社会貢献としての環境保全活動を支えています。

■自然観察会

当会が最も力を入れているのがこの自然観察会です。自然に親しみ、自然の仕組みや自然の大切さを育てるよい機会ととらえています。これまでに市内外で200回以上開催しています。

■環境教育

最近では学校でも環境教育に積極的に取り組むようになり、当会でも正規の授業をはじめ様々な場面での教育活動を行っています。また、社会教育の場面でも同様の活動を行っています。

■各種行事・事業

当会の提案で始まった「清瀬カタクリまつり」は、市の春の一大イベントとして定着し、市内外から2万人以上の人々が会場の「清瀬中里緑地保全地域」を訪れます。この時期には、併せて市からの依頼で同緑地保全地域において、野草などの盗掘監視パトロールを請け負っています。このほか、講演会・映写会・写真展の企画・開催等の事業を積極的に行っています。

■出版等の活動

「清瀬の自然 フィールドガイド」(全3巻)(1986、1987)、「清瀬の名木巨木百選」(2008)、などを自主出版あるいは企画・編集を行っています。



清瀬中里緑地保全区域
※清瀬市 WEB ページより



カタクリ
※清瀬市 WEB ページより



清瀬松山緑地保全区域
※清瀬市 WEB ページより

² 東京における自然の保護と回復に関する条例